

芹ヶ谷公園“芸術の杜”コンセプト案報告会 議事概要

日時	2019年12月21日(土) 10:30~12:00
場所	町田市立国際版画美術館講堂
町田市 出席者	企画政策課 3名 公園緑地課 4名 文化振興課 3名
参加者	30名

【意見交換要旨】

参加者：国際工芸美術館について、今回の説明で1,500平方メートルになると話があったが新たに設計しなおすのか。私は国際工芸美術館は必要ないと考えている。

町田市：設計について、今は1,500平方メートル程度を考えている。皆さんのご意見を踏まえながら、基本・実施設計を行う。設計にあたっては、前の設計を無駄にせず見直していく。国際版画美術館と国際工芸美術館を一体にし、前回の場所を軸に考えていきたい。また、財源については、市としてきちんと取り組んでいかなければいけない。国際版画美術館、国際工芸美術館は市外の方も多く訪れる施設だと思っている。そのような施設をPRするため、企業版ふるさと納税に本プロジェクトを認定することができた。市外も含めて企業に本プロジェクトを説明しながら、賛同が得られるところから財源的な協力をいただけるよう取り組んでいきたいと思っている。

参加者：この報告会は決定の場ではないとの理解でよいか。いつこの案の決定になるか。

町田市：2019年12月16日からコンセプト案を各市民センター、版画美術館、図書館等に設置し、2020年1月17日までアイデアや意見の募集を行っている。そのご意見も踏まえて、3月を目途にとりまとめたと思っている。

参加者：すばらしいプロジェクトだと思う。若い人の意見を集めたということだが、私たち高齢者にとってもっと大事なものがある。そこを残念ながら取り入れられていない。芹ヶ谷公園はアクセスしにくい場所である。小田急線の駅を町田駅の手前に作ってそこからアクセスできたらよい。そういった案はあったのか。

町田市：小田急線の改札や駅が町田駅の手前にできるという話は聞いたことがない。先になるが、大きな環境変化としては、多摩都市モノレールが2032年を目途に導入される。そのときに芹ヶ谷公園付近に一つの駅ができると良いと思っている。原町田大通りの整備もある。

参加者：このプロジェクトは博物館を閉館してこちらに移すと思うが、一極集中もいいが、

文化を育てるために、市のいろんな場所に施設があってもいいのでは。博物館の役割は非常に大きかった。一極集中ではなく、分散型というのが理想的な町田の姿ではないかと思う。

町田市：一極集中にみえてしまったかもしれないが、市内のいろいろな場所に展開はしていきたいと考えている。現在、アウトリーチ事業というのをやっている。例えば、博物館のところに収蔵品があるが、収蔵品を版画美術館で展示してみたり、鶴川駅前のポプリホールでの展示等、できるだけ積極的に外に向けて展開していきたいと思っている。

参加者：考古資料室は町田市としてどのように維持させるのか。ここに吸収されるのか。

町田市：考古資料室については、国際工芸美術館への移設は今の段階では考えていない。

参加者：現在の考古資料室はどうなるのか。

町田市：考古資料室として残して、教育委員会で管理をしていく。もちろん博物館が持っている土器等の考古資料も貴重な資源である。施設を作るのではなく、みなさんに見て、触っていただくような展開を市役所全体で考えていければいいなと思っている。文学館でも今年、縄文土器の展覧会を行った。施設の垣根を超えるような形で目にさせていただく機会を工夫していければと思っている。

参加者：私は国際工芸美術館に期待している。国際版画美術館の工房には体験だけでなく、恒常的に工房を使っている方がいる。続けるということができると環境では、次の世代に教え、繋げることができる。恒常的な工房、スタジオ、あるいはそういう学習環境を運営していくというような考えを入れていただきたいと思っている。

参加者：芸術の杜の芸術の範囲は何か。演劇とか映画とかダンスとかそういったものはどうするのか。

町田市：国際版画美術館や国際工芸美術館があるが、それだけとは考えていない。町田らしい多様なアートカルチャーを体験する場所にしていきたいと思っている。公園内のステージも大きい舞台を作る訳でなく、地形を生かした様々なことをしていける土壌や環境を整えていきたい。ここであれば様々な活動、文化の発信をできると認識いただけるような場所づくりを目指していきたいと考えている。

参加者：考古資料は市としてどうするのか。町田市の考古資料の状態は他の市に比べて悪い。若い世代に伝えることができない。

町田市：現状は、考古資料は教育委員会と博物館で分散して所管している状況。考古資料は来年度中に教育委員会で一括管理をすることになっている。町田市が**考古資料を十**

分に活用できていないということは、素直に受け止めなければいけない。未来の子供たちに伝え続けるという意味で大変重要な資源なので、拠点や伝え方等、工夫を今まで以上にしていかなければいけないと考えている。

参加者：自然の調査をしているのか。芹ヶ谷公園の鳥や動物の種類が減っている。公園だけでなく広い範囲で行わないとわからないのではないか。

町田市：工芸美術館を建築するにあたって必要となる調査のため、公園全体の自然環境調査を行っている。町田市内の広い範囲で調査を行うかは別になってしまうが、小田急線側から版画美術館のところまで調査をしている。

参加者：私は陶芸をやっている。陶芸がこのプロジェクトの犠牲になっていると思われる。市民大学で陶芸教室が無くなり、陶芸をする場所が町田市に無くなった。コミュニティセンターでは陶芸ができない。私たちは、相模原市のコミュニティセンターを使わせてもらっている。他の部署とも連携をとって考えていただきたい。

町田市：ガラスと陶磁器に焦点をあてるという国際工芸美術館の構想があるなかで、陶芸に関わっている方は、町田市内の貴重な人材であることは間違いないこと。国際工芸美術館が実現するにあたって、そこを担っていただく方として、大事にコミュニケーションをとっていききたいと思う。

参加者：美術館の名前の頭に工芸とか版画とかをつけてしまうと、そういうカテゴリーの美術館だと思ってしまう。町田美術館でも町田博物館でもいいので、そういった言葉をつけてくればよいのでは。また、子どもの遊びから高齢者の活動までこの会場が吸収すべきであると思う。あまりカテゴリーを作らないほうが良い。

参加者：町田市立博物館に何度も行っていた。ガラスや陶芸が素晴らしいのはもちろんなのですが、染織にも素晴らしいものがたくさんある。それはどうなるのか。染織はガラスや陶芸とは保存方法が違うのでそのあたりも気になっている。また、国際工芸美術館になったとき、工房が、市民の方も市民じゃない方も利用できるものがどういう風にできるのか。一回限りではなく、続けて人生を豊かにしていくためにあるべきなのが、公共の工房だと思うので、そのあたりどうお考えか。

町田市：染織品は今後検討していく。貴重な資料であることは、間違いがないところだが、市としてフォーカスをあてているのが、ガラスと陶芸というところになる。芹ヶ谷公園の再整備基本計画に町田荘跡地に体験ができる工房の計画がある。美術館として整備する部分については、要素である収蔵や展示ということは考えているが、公園の中でとらえたときに皆さんが体験や工房が必要と認識はしているので、そういった視点で検討をすすめたいと思っている。

参加者：アクセスのためにモノレールは大変な問題だと思っている。モノレールは芹ヶ谷公園の環境を壊してしまう。谷を埋めて、橋脚をたてる。見上げるようなものが芹ヶ谷公園の真ん中を通ってしまう。公園そのものの破壊になる。モノレールは災害に弱い。強風でさえ危ない。そんな危ないものを作るのに私は大反対。モノレールは40年前の計画である。未だにモノレールしかないような考え方で町田市は進めている。危ないものを作るより、大震災に備えて、芹ヶ谷公園に防災のための備蓄倉庫を作っていたきたい。

町田市：防災備蓄倉庫の話ですが、直接所管はしていないので、正確なことは申し上げられないが、基本的に町田市の場合は、避難所というのは、小学校のようなきちんとした耐震の構造で広い場所を防災拠点にしていくという方針でやっておりまして、公園の中に防災拠点と同じようなものを設けるということは今の所考えていない。防災時、実際に発災したときに自然発生的に公園を使うことは考えられるが、防災拠点である学校のような拠点に集まって、そこで、物資を共有するという考えである。

参加者：第一期工事の部分が今日の説明の範囲にない。その部分は芸術の杜やパークミュージアムではないのか。意見としては、アイデアがでて楽しいと思うし、市民が参加できる部分がいっぱいあると思うが、それをコーディネートする人の姿が見えてこなかった。何かをするときに必ず市と相談しなければならない。そういったことをコーディネートするときに、パークミュージアムというのであれば、ミュージアムそのものに学芸員的な人を置いてほしいと思う。イベントは楽しいが、公園は日常のものである。そこにいるからこと気づくこともあると思うので、そういう方を常駐させて、拠点となる場所と人を置いてほしい。

参加者：国際工芸美術館の建物は国際版画美術館や芹ヶ谷公園と統一性があるような、なじむように考えていただきたい。また、芹ヶ谷公園から高ヶ坂あたりは縄文文化が栄え、土器も出ている。国際工芸美術館の中に含めて考えていただきたい。さらには、中心市街地から芹ヶ谷公園までのアクセスが非常に悪い。そのためにも国際工芸美術館にエレベータを設置することが無くならないようにしてほしい。バスを通すとか、もっと幅広く考えてこのプロジェクトを進めていただきたいと思っている。